

第23回「中国地区GHP研究会」開催のお知らせ

謹啓

寒さの厳しい時節ではございますが、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第23回の研究会は、「摂食障害」をメインテーマとして開催する運びとなりました。

特別講演は、北九州医療刑務所所長 瀧井正人先生にお願いしております。瀧井先生は九州大学心療内科で行動制限をもちいた摂食障害治療を実践してこられ、ここ数年は北九州医療刑務所で触法行為を行った摂食障害者に対する治療に取り組んでおられます。当日は豊富な臨床経験に基づいた摂食障害治療についての有意義なお話が聞けるものと思います。

ご多忙のことと存じますが、何卒ご出席賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

日時：平成31年3月2日(土) 16:00~19:00

場所：ホテルチューリッヒ東方2001 <http://www.b-mozart.co.jp/hotel/>

参加費(予定)：1名につき1000円(当日受付にて徴収させていただきます)

【関連演題】16:00-17:00

座長 島根大学医学部 精神医学講座 長濱道治 先生

1. 「てんかん既往のある患者の統合失調症症状に対してパリペリドンが有効であった1例」

鳥取大学医学部附属病院精神科 有馬和志 先生

2. 「初回入院治療からパリペリドン持効性注射剤を導入することで、

安定、維持が得られた初発統合失調症の1例」

川崎医科大学精神科学 田中賀大 先生

3. 「当院における摂食障害診療」

岡山大学病院精神科神経科 千田真友子 先生

【ケースディスカッション】17:00-17:40

座長 山口大学保健管理センター 松原敏郎 先生

「20歳台 女性 摂食障害ケース」

鳥取大学医学部附属病院精神科 山梨豪彦 先生

<Coffee brake 17:40-18:00>

【特別講演】18:00-19:00

座長 鳥取大学医学部附属病院精神科 山梨豪彦 先生

『摂食障害の病態と治療 ～医療刑務所における実践～』

北九州医療刑務所 所長 瀧井正人 先生

共催：中国地区GHP研究会

代表世話人 和田 健 (広島市立広島市民病院 精神科)

当番世話人 山梨豪彦 (鳥取大学 精神医学行動分野)

ヤンセンファーマ株式会社